

第62回国民体育大会わかすぎ国体

静岡県レスリングチーム試合結果報告

成年の部	藤本 浩平 (フリー 66kg級)	優勝	拓殖大学4年
	岩崎 裕樹 (グレコ 74kg級)	優勝	ホテル「銀水荘」
	長谷川恒平 (グレコ 55kg級)	3位	福一漁業(株)
	杉村 太一 (グレコ 60kg級)		日本体育大学4年
	関 一機 (フリー 84kg級)		山梨学院大学3年
	後藤 紳介 (グレコ 96kg級)		国士舘大学4年
秋山智史 (フリー120kg級)			山梨学院大学4年
少年の部	中野 智章 (グレコ 50kg級)	優勝	焼津中央高校2年
	山下 剛 (フリー 84kg級)	2位	修善寺工業高校3年
	鈴木 将斗 (グレコ 55kg級)	3位	焼津水産高校3年
	山本 竜司 (グレコ 96kg級)	3位	飛龍高校2年
	廣瀬 裕太 (フリー120kg級)	5位	沼津城北高校2年
	尾崎 淳 (グレコ 60kg級)		焼津中央高校3年
	三田 裕仁 (フリー 74kg級)		修善寺工高校3年

総合 (天皇杯) 2位

わか杉国体を振り返り、率直に総合2位という成績はすばらしいできである。

その原動力となった試合が、成年フリー66kg級の藤本浩平である。これまでの試合では2位に甘んじることが多々あった。特に、2年前の全日本選手権大会(佐藤選手との決勝戦)では、ラスト5秒までリードしていながらがぶり返して逆転された。昨年の国体も決勝で負けている。そんな過去を吹き飛ばすような積極的な攻めが今大会は目立った。決勝は、一セットから積極的なタックルでテイクダウンさせグラウンドでは転がしてリードを広げる試合運びで、1Pは取られたが、2・3Pとリードして勝利した。これからも攻撃的レスリングに心がけて欲しいと思う。

岩崎裕樹は、勝たなければならない、負けられないというプレッシャーと実戦から遠ざかっていたのか技に鋭さがなかった。しかし、堅実な守りと使命感で勝つことができたと思う。今回では優勝の苦勞と厳しさを一倍感じたことと思う。

この経験を生かして、次の目標に向かって最高の苦勞を託したい。

少年チームは、国体合宿と日頃の練習の成果を十二分に発揮してくれたと思う。特に、中野智章は堅実なレスリング運びで予想とおりの活躍であった。また、5人が得点に絡んでくれたことが大きな要因と思う。総合的に強いチームのため得点に絡めない選手がいたことは仕方がないと思う。国体で上位の成績を収めるためには、シード確保が不可欠であると思う。

最後に、今回の成績ならこれからも可能ではないかと思う。その理由として、静岡県レスリング協会の団結力、競技力、指導力等からまだまだ伸びることができると思う。

関係各位の協力をお願いして国体の報告とします。

理事長 佐々木禎